市議会だより

大月市

令和５年５月31日発行 No.170

特集　対談／都留高校生と大月市議会

CONTENTS

・令和５年第１回（３月）市議会定例会
（主な議案の内容）…… P．４～
・予算審査特別委員会 …… P．６～
・議決結果等一覧表 …… P．８～
・代表質問／一般質問 …… P．10～
・議会日誌 …… P．16

都留高校生による研究内容報告

特集

対　談
都留高探求プロジェクト × 市議会

都留高探求プロジェクトは、SDG's11「住み続けられるまちづくりを」をテーマに、大月市の人口増と観光客が繰り返し訪れるための仕掛けづくりについて発表しました。いずれも市政の大問題です。互いに感想や思いを語り、研究内容を掘り下げました。
時間を忘れて意見交換は白熱しました。

大月市議会
- 志村和喜総務産業常任委員長
- 藤本実総務産業常任副委員長
- 相馬保政委員　・小原丈司委員
- 相馬　力委員　・鈴木基方委員
- 棚本晃行広報委員長・西室　衛委員
- 安藤久雄委員
- 山田政文議長（オブザーバー）

SDG's11「住み続けられるまちづくりを」

① 地方の人口を増やすには

○ 首都圏の地方移住への関心は高まっている
○ 地域と多様にかかわる人「関係人口」に着目
○ 移住先の受け入れ態勢が万全でないことがある
○ 関心を持ってもらうには SNS の活用も有効

（都留高校生）

東京圏で社会増が一番多いのは女性ですが、今感じていることは？

【市議会】

○　東京圏で社会増が一番多いのは女性なんです。圧倒的に20代前半から30代くらいまでの女性が多い。せっかく女性の高校生の皆さんがいるので、今の時点で感じていること、逆に出たいと思っているかを聞かせてください。（市議会）

キャリアを積んで成長してから戻ってきたい

【都留高校生】

・大学とかも結構東京の方に揃っていたりするので、東京に出たいなというような思いはあるのですけど、初めにキャリアを積んでおいてその後また何か自分の携わりたい仕事につきたいなという思いがあります。

・私も正直言うと地方に行くよりは都会とか別の場所に行って、そこでキャリアを積んで、成長してから戻ってきて田舎にまた移住するとかっていうふうには考えています。親は最初東京とか北海道とかに住んでいてそこから上野原市に移住してきたみたいな感じで、私もある程度職に就いてから戻ってきて落ち着いた暮らしをしたいと思っています。

・私も正直に言うと、東京に出て勉強したいと思うのもあります。若いうちは東京に行って、バリバリ働いてからお金とかもいっぱい貯まったころで山梨に戻ってきたい。

○　何かを叶えたいとか、何かキャリアを積んでいきたいとか、その選択肢が自由であるべきだと思っていますし、こちらで叶えられないなら向こうに行って叶えようと思うのは当然だし、そうするべきだと思います。その上でどうやっていくかっていう中で、今回取り上げてくれた関係人口という話が出てくると思うんです。（市議会）

② 大月復活大作戦を考える
～地元にも観光客にも愛される町づくり～

○ 大月駅で２度のアンケートを実施
○ 東京からの観光客が多い
○ 大月に繰り返し来てもらう魅力の掘り起こしが必要
○ 多くの方が目的の山を地域観光につなげることも必要
○ 山や地域の名所を巡るような企画を考察

（都留高校生）

研究報告の様子

今観光は体験を価値として提供する流れだが、何かアイデアは？

【市議会】

・山とか川とかの自然の観光資源が大月市ってとても溢れていると思うのですけど、お金を落とせる施設というかそういうものが本当に無いと思います。

○ 今、観光って、自分で選んで体験、体験を価値として提供するっていう流れに徐々に向かってきているんだけど、そういったもので何かアイディアとかないですか、逆に聞きたいです。（市議会）

・返礼品のようなものがあれば、「また来てもいいかな」となって、そうすると大月市周辺を回っていって、そうすると一日とか長い時間巡ったりしていると、自然とここでお買い物をしたりとかご飯処とか発見できて、そこでお金を落としてくれると思うので、何か一つじゃなくて、いろんな所を回れる案が良いんじゃないかなと思います。

何か一つではなく、いろんなところを回れる案が良いのでは

【都留高校生】

○ 去年、一昨年だとアニメ「ヤマノススメ」で、山頂に行って写真を撮ってくる。ＳＮＳで発信する。で、観光案内所に戻ってくるとポストカードがもらえる…。悩んでいるのが、大月市で磨き上げる所は最後どこなんだろうって、すごく悩ましいのが本音です。（市議会）

○ 目の前にある山とか川には説明はいらないけれど、繰り返し来てもらおうと思ったら、ならではのストーリーを提示してそれをＳＮＳを含めたて発信して「是非自分も体験したい」というふうに思ってもらえるような歴史をしめすということになると思います。様々な人たちが何とか盛り上げようとそれぞれの分野で取り組んでいるというのが現状ですが、是非今日頂いたものを参考に、様々な取組をしていきたいと思います。（市議会）

意見交換会の様子

大月市議会令和5年第1回（3月）定例会
こんな事が決まりました
2月27日～3月22日（24日間）

今定例会の議案

市長提出
- 条例案件・・・・・・・・・11件
- 当初予算案件・・・・・・・8件
- 補正予算案件・・・・・・・6件
- その他の案件・・・・・・・2件
- 人事案件・・・・・・・・・1件

議会提出
- 条例案件・・・・・・・・・1件
- 請　願・・・・・・・・・・1件

主な議案の内容

条例

◎大月市子育て支援手当支給条例廃止の件

子育て支援手当は出産子育て応援給付金へ移行します

・出産子育て応援給付金事業へと移行するため、同条例は廃止されました。

◎大月市税条例等中改正の件

・市税をはじめとする督促状に係る督促手数料を廃止するための改正を行いました。

◎大月市議会の個人情報の保護に関する条例制定の件

・個人情報保護制度が法改正され、議会の個人情報の保護に関し必要な事項を定める必要があるため、同条例が制定されました。

予算（補正）

◎令和4年度　大月市一般会計補正予算（第11号）

子育て世帯へ市独自の支援として2万円を追加支給

○子育て世帯に対する価格高騰重点支援事業
＊18歳以下の児童を養育する世帯へ2万円を追加支給する経費
2、517万円

○生活交通対策費（バス路線運行経費補助金）
8、100万円

◎令和4年度　大月市一般会計補正予算（第12号）

○新型コロナウイルスワクチン接種事業
4、446万円

予算（当初）

◎令和5年度　大月市一般会計予算・特別会計予算については、予算審査特別委員会のページ（P6～P7）をご覧ください。

その他

◎地方独立行政法人大月市立中央病院第2期中期計画について認可する件

人事

◎大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

・稲本美一委員が選任されました。

常任委員会の様子

●総務産業常任委員会

地域おこし協力隊について（産業観光課）

Q　未経験者が林業の担い手として来ていただくことは可能なのか。

A　山の仕事は、木を切るという現場の施業的な業務もありますが、新しくできました森林経営管理制度という事業もあり、作業ができない方でもそういったことを担い、林業振興を司るような業務もできるところもあるかと思っています。

Q　協力隊として人材を確保し、県の大学校で研修を受けてから就職をするということはできないか。

A　短期的な研修であれば協力隊の身分で研修に派遣することは可能です。長期的になると、まずは研修を受けてから協力隊になっていただくという方法が良いかと思います。

Q　どのような受け入れ方であれば即戦力として現場に送り出せるのか、県と協議が必要では。

A　山梨県も独自の森林環境税を徴収しているので、これを活用して県と市町村でどういった森林整備をしていくか、担い手をどうするかというところを山梨県の富士・東部林務事務所と相談しながら林業振興の協議を進めているところです。

生活交通対策費について（企画財政課）

Q　前年に比べ赤字補填が増えているが理由は。

A　物価高騰分の燃料費等の値上げの分が影響しています。

Q　売り上げや必要費用からその内の一定割合を市が出すという形になっていると思うが。

A　全路線15系統57路線の走行距離と経費が算出され、赤字額の6割をお支払いをしている形になっています。

●社会文教常任委員会

バスの安全装置設置について（子育て健康課）

Q　送迎バスへの安全装置の設置や所在の確認の対応状況は。

A　安全装置につきましては現在市内の2カ所に設置をする予定で令和5年度に対応する予定となっております。幼稚園、保育所の安全確認等につきましてはそれぞれその事件が起こった後等に通知が発せられております。市の方からも経由して各該当の園には周知をさせて頂いている状況となっております。

マイナンバーカードについて（市民課）

Q　マイナンバーカードの交付率は。

A　2月28日現在で、1万4、281枚。63・1％となっております。

Q　保険証として使える箇所や、他の使い道についての考えは。

A　カードの保険証利用につきましては、市内の医療機関、歯科、薬局等で19カ所の登録がございます。利用機関については今後増えていくということが見込まれると思います。また市独自の利用につきましては、庁内で検討していきたいと考えております。

地方独立行政法人大月市立中央病院第2期中期計画について（子育て健康課）

Q　経常収支比率100パーセントを目指すとの事だが、現実的に達成可能な目標設定か。

A　収益を抑えた計画が始めに提示されておりましたが、目標を高く持って計画を作って頂きました。新理事長に交代する中で、まずは分析からということで分析システムを導入し、経営改善に繋げていきたいと考え、取り組んでいるとの事です。

令和5年度 当初予算を可決！

委員長
安藤　久雄

副委員長
萩原　剛

令和5年度予算審査特別委員会委員長報告（要旨）

令和5年第1回（3月）市議会定例会、開会日に、委員12人で構成する令和5年度予算審査特別委員会が設置され、本委員会に議案第12号「令和5年度大月市一般会計予算」から議案第19号「令和5年度大月市後期高齢者医療特別会計予算」までの8件の予算案件が付託されました。付託されました、8案件を審査するため、3月15日、16日、17日の3日間、委員会を開催いたしました。予算全体の概要並びに各課別の予算内容について、教育長及び部長等出席のもと、担当課長等から説明を受け、慎重審査を行い、採決を行った結果、議案第13号「令和5年度大月市大月短期大学特別会計予算」から議案第19号「令和5年度大月市後期高齢者医療特別会計予算」までの7会計については、全会一致で、議案第12号「令和5年度大月市一般会計予算」については、賛成多数で、いずれも可決すべきものと決しました。

予算審査の過程におきましては、各委員から多くの意見等が出されました。そのうち、主なものを4点ほど申し上げます。

1点目は、情報共有及び庁内連携についてであります。審査を行う中で、複数の課等が関係する事業において、説明が乏しく理解が不十分な課等がありました。庁内において情報を共有し、連携を図り、事業遂行に努めていただきたい。

2点目は、デマンドタクシーの実証実験についてであります。新たな公共交通システムを導入することは、市内の高齢者などの交通弱者にとって大変重要なものとなりますので、実証実験を踏まえて、実現可能な地域公共交通計画となるよう要望します。

3点目は、学校給食費無償化についてであります。給食材料費の物価高騰分は、市が負担することとなっておりますが、近隣市では、すでに無償化の対応を取っており、少子化対策の面からも近隣市との差が出ないよう対応することを要望します。

4点目は、学校用地適正管理についてであります。市内の学校用地の一部において、民有地を賃借している土地がありますが、閉校跡地等も含めて、適正に管理していくことを要望します。

令和5年度　大月市一般会計予算に対する討論

◆反対討論（要旨）　藤本　実　議員

令和5年度当初予算には、新規の子育て支援策がありません。中央病院は赤字補填を減らし、市の基金は20億円も増えたのになぜか。しかも、地球温暖化対策には全く無関心です。再生可能エネルギー資源等の賦存量調査は今回も計上されませんでした。1億円程度の新規事業は十分できるため、再考することを訴え反対します。

◆賛成討論（要旨）　鈴木　基方　議員

ふるさと納税に関しては、増収を目指していくという方針が示され、計上されている1億円よりも増収の可能性は高いと言えます。また、第8次総合計画の策定に向け、SDG.sの観点から事業内容を精査し、有利な起債や補助金などを活用した今後の事業展開の方針も執行部から示され、今後の事業展開に期待すべき予算であります。

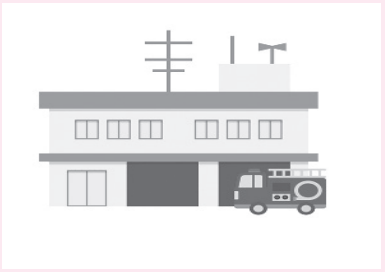
主な予算の使い道が決まりました

【事業名】 大月駅周辺整備事業
【事業費】 7,970 万円
【内　容】 大月市立地適正化計画に示されたまちづくり方針に基づき、地域拠点である大月駅周辺の基盤整備を推進し、都市機能が集積し、暮らし・交流の拠点となる中心市街地の形成を図る。
令和５年度：大月駅裏通り線拡幅事業（令和３年～事業期間７年間）

【事業名】 新庁舎整備基本計画策定事業
【事業費】 1,219 万 6 千円
【内　容】 令和４年度に策定した新庁舎整備基本構想に続き、令和５年度においては基本計画の策定を行う。建設候補地を１か所に選定するとともに、基本設計に向けた与条件の設定を行うことを目的とした基本計画を策定する。

【事業名】 生活交通費対策事業
【事業費】 1,692 万 2 千円
【内　容】
・新たな公共交通の導入
路線バスの赤字増加に伴う、運搬縮小や交通空白地解消を目指し、デマンドタクシーの実証実験を行う。また、その結果を公共交通計画に反映させる。
・大月市地域公共交通計画の策定（交通計画の策定は、交通会議が行う）。

【【事業名】 定住促進事業
【事業費】 1,610 万 8 千円
【内　容】 本市への定住促進を図るための新築住宅取得や、新婚世帯・転入子育て世帯への家賃等に対して助成する。



【事業名】 消防署庁舎整備事業
【事業費】 1,494 万 9 千円
【内　容】
・消防庁舎に緊急消防援助隊受援室の整備
・救急隊員の感染防止のための屋外トイレ

【事業名】 出産子育て応援事業
【事業費】 780 万 8 千円
【内　容】 妊娠期から出産・子育てまで、一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型の横断支援」を充実し、「経済的支援」を一体化して実施する事業。

【事業名】 猿橋駅周辺整備事業
【事業費】 1,388 万円
【内　容】 大月市立地適正化計画に示されたまちづくり方針に基づき、サブ拠点である猿橋駅周辺の基盤整備により商業機能の充実や居住環境の向上を図り魅力あるまちづくりを推進する。
・猿橋駅北口広場設計
・まちづくり勉強会開催

【事業名】 観光資源保全管理事業
【事業費】 2,564 万 5 千円
【内　容】
・大峠循環式トイレ設置事業
老朽化トイレの更新
・名勝猿橋駐車場整備工事
大型観光バス向け駐車場の整備

【事業名】 豊かな森づくり事業
（大月市森林環境税及び森林環境税活用事業）
【事業費】 1,374 万 2 千円
【内　容】 国県造林補助事業等に対する標準経費の諸経費分、木質バイオマスの搬出・運搬に係る経費、補助金申請等に係る経費へ補助金を交付し、森林保全と林業振興を促進し二酸化炭素の削減を目指す。

議決結果等一覧表

賛成○　反対●　退席―　※山田政文 議長を除く

種別	議案番号	案件名＼議員名	萩原剛	相馬保政	奥脇一夫	小泉二三雄	西室衛	小原丈司	藤本実	相馬力	鈴木基方	安藤久雄	志村和喜	棚本晃行	結果
条例	第１号	大月市庁舎整備検討審議会条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第２号	大月市職員定数条例中改正の件													
	第３号	大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件													
	第４号	大月市長の退職手当の特例に関する条例中改正の件													
	第５号	大月市税条例等中改正の件													
	第６号	大月市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例中改正の件													
	第７号	大月市国民健康保険条例中改正の件													
	第８号	大月市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等中改正の件													
	第９号	大月市立保育所条例中改正の件													
	第 10 号	大月市道路占用料徴収条例中改正の件													
	第 11 号	大月市子育て支援手当支給条例廃止の件													
	第 27 号	大月市議会の個人情報の保護に関する条例制定の件													
当初予算	第 12 号	令和５年度　大月市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
	第 13 号	令和５年度　大月市大月短期大学特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 14 号	令和５年度　大月市国民健康保険特別会計予算													
	第 15 号	令和５年度　大月市簡易水道特別会計予算													
	第 16 号	令和５年度　大月市下水道特別会計予算													
	第 17 号	令和５年度　大月市介護保険特別会計予算													
	第 18 号	令和５年度　大月市介護サービス特別会計予算													
	第 19 号	令和５年度　大月市後期高齢者医療特別会計予算													

令和５年３月定例会

種別	議案番号	案件名＼議員名	萩原剛	相馬保政	奥脇一夫	小泉二三雄	西室衛	小原丈司	藤本実	相馬力	鈴木基方	安藤久雄	志村和喜	棚本晃行	結果
補正予算	第 20 号	令和４年度　大月市一般会計補正予算（第 11 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 21 号	令和４年度　大月市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）													
	第 22 号	令和４年度　大月市簡易水道特別会計補正予算（第４号）													
	第 23 号	令和４年度　大月市下水道特別会計補正予算（第４号）													
	第 24 号	令和４年度　大月市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）													
	第 28 号	令和４年度　大月市一般会計補正予算（第 12 号）													
その他	第 25 号	市道の路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 26 号	地方独立行政法人大月市立中央病院第２期中期計画について認可する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	第 29 号	大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願	第１号	治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を国に求める請願	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	不採択

ズバリ！

市政を問う

３月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

（１）西室　衛議員　（大月改新の会＆公明）　11 ページ

① 新交通システムの実施実験の内容は
② パブリックコメントでの意見反映は

（２）棚本晃行議員　（山と川の街大月）　12 ページ

① 物価高騰の実態を的確に捉え、必要な分野、市民生活への支援を行うべき

一般質問

（３）藤本　実議員　（日本共産党　所属）　13 ページ

① 国民健康保険税子供の均等割減免を
② 少なくとも必要性を認め、国、県に要望するべきだ

（４）相馬　力議員　（大月改新の会＆公明）　14 ページ

① 市長一期目の総括と自己評価は
② 教育に関する基本的な考え方と教育への意気込みは

（５）鈴木基方議員　（山と川の街大月）　15 ページ

① 病児・病後児保育事業について
② 無形の文化遺産を映像や文書で残しておくべき

市議会のページは
コチラから

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（６月上旬発行予定）を図書館及び市のホームページ（http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/）で閲覧することができます。

代表質問

大月改新の会＆公明
西室　衛

Q 新交通システムの実証実験の内容は
A 交通空白地の解消に向け取り組む

問 令和5年度予算案及び新規事業を伺います。初めに、ふるさと納税へのしっかりとした取組を伺います。2点目に、高齢化が進み、自動車免許を安心して返納できる環境が必要です。その一つとして期待されているのが、安価で利用できるデマンドタクシーであり、デマンドバスだと思っておりますが、今回のデマンドタクシー実証実験の内容を伺います。

答 市長 令和5年度予算案及び新規事業等についてのうち、初めにふるさと納税増への取組はについてであります。新たに大月市ふるさと納税人気返礼品開発事業費スペシャル補助金交付要綱を制定し、シャインマスカットや精肉などの人気返礼品の育成にも取り組んでおります。ふるさと納税額を伸ばしていくために、地場産品を返礼品にすることで地域産業を活性化させていくことが必要であり、そのための各種取組を進めてまいりたいと考えております。次に、デマンドタクシー実証実験の内容はについてであります。来年度予定している実証実験の候補地は、梁川町、猿橋町小篠地区、初狩町藤沢及び丸田地区とし、バス停まで距離のある交通空白地の解消に向け取組を行うこととしております。市民ニーズにマッチするかや、事業者が問題なく運行できるかなどの実験を行い、地域公共交通計画に反映させることとしております。

Q パブリックコメントでの意見反映は
A 基本計画策定の参考とさせていただく

問 大月市新庁舎整備基本構想（案）についてお伺いします。1点目に、パブリックコメントで寄せられました内容を伺います。2点目に、今後審議会が立ち上げられますが、パブリックコメントの意見をどう反映させるのか伺います。

答 総務部長 基本構想（案）に対するパブリックコメントを実施したところ、個人から10件、団体から8件の計18件と大変多くの、また貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。ご意見の内容を細分化し、分類整理したところ、新庁舎の必要性、整備方針、候補地の選定方法や整備方法など、13分類にわたる65件となりました。特に庁舎建設候補地につきましては、最も多い36件のご意見をいただいております。次に、パブリックコメントの意見をどう反映させるのかについてであります。大月市新庁舎整備基本構想（案）に係るパブリックコメントのご意見につきましては、今月3日に開催した大月市庁舎建設庁内検討委員会において審議を行いました。審議の結果、多くの意見は、庁舎建設候補地についてなど、今後、議論を進める中で参考とすべき事項であったこと、またこれまで庁内検討委員会において議論された事項であったことから、基本構想（案）は承認するものとしました。しかしながら、貴重なご意見は、来年度予定している基本計画策定の参考とさせていただきます。

大月市役所

代表質問

山と川の街大月

棚本　晃行

Q 物価高騰の実態を的確に捉え、必要な分野、市民生活への支援を行うべき

A 新年度においても本市としてできる支援を検討していきたい

問 物価高騰は家計を直撃し続けており、市民の皆様からは、今後の生活が不安だという声が聞かれる。医療、社会福祉、保育施設などでも、応急措置として支援が必要だと考える。

実態を的確に捉え、必要分野、市民生活への支援を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 産業建設部長

物価高騰対策については、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者支援を目的としたがんばろう大月キャッシュレス決済還元事業や、子育て世帯に対する支援や学校給食の負担金の支援、医療、介護、福祉関係施設への支援、公共交通事業者等への支援など、必要な分野において対策を講じてきました。

新年度においても、迅速かつ適切な施策を展開する必要を強く感じておりますが、財政が厳しい状況の中においては、国や県の動向を注視しながら、適時適切に対応することが重要と考えております。今後におきましても、物価高騰による市民生活の実態を把握し、本市としてできる支援を検討していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

Q 施策の総点検をし、子育て支援策の充実を

A 支援策を見直し、真に必要な支援の充実につなげていく

問 多様化する子育てニーズの把握をし、施策の総点検を行い、子育て支援策の充実を図っていくべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 市民生活部長

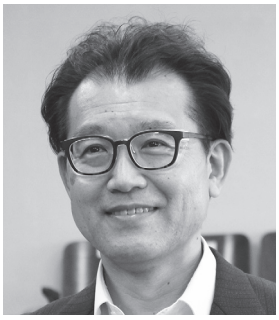
妊娠時から乳幼児期、児童期を経て進学支援まで、本市では様々な子育てに関する支援事業に取り組んでおります。さらに充実した施策となるよう、来年度に実施予定の子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査を、市民ニーズを伺う機会と捉え、調査結果を踏まえ、施策を見直すことが必要と考えます。

また、今年度スタートした伴走型相談支援事業において、妊婦さんとの面談の中においても、それぞれが抱える課題等に向き合い、真に必要な支援の充実につなげてまいります。なお、国におきましてもこども家庭庁が創設され、こども基本法が制定されるなど、子供に関する取組や政策を強力に進めていくこととし、多様な補助事業が予算概要に取り込まれております。本市の実情を見極め、必要な事業を取りこぼすことなく対応してまいります。

その他の質問

- 問 今後の企業誘致の方向性と政策展開は
- 問 子育て世帯の課題と支援体制は
- 問 少子化対策の必要性の認識と対策は
- 問 大月市新庁舎整備基本構想（案）について

一般質問



藤本　実
日本共産党　所属

Q 国民健康保険税子どもの均等割減免拡充を

A 制度が加入者に一律の費用負担を求めており適当ではない

問 今年度から、国制度として未就学児までは半額になった。私は実施に先立ち、市独自の上乗せ減免を求めたが、適正ではないとの答弁だった。この間、厚生労働省が見解をしめし、自治体が条例減免の仕組みを活用し、子どもの均等割減免などを行っても法律や政省令には違反しないことが明確にされた。大月市でも国民健康保険税こどもの均等割減免拡充をすべきだ。

答 市民生活部長

国民健康保険税の未就学児均等割軽減につきましては、国の制度改正により、子育て世帯の経済的軽減の観点から、未就学児の均等割5割軽減を令和4年度から実施しております。議員ご提案の国民健康保険法第77条に基づく減免でありますが、18歳未満の被保険者を限定して本市独自の減免を行うことは、国民健康保険制度が加入者に一律の費用負担を求めるものであることを踏まえると、適当ではないと考えております。

仮に本市が独自の減免を行った場合の負担増額は、未就学児のみで87万5千円、18歳まで対象で714万円万円が一般会計からの繰入金となります。

また、平成30年度から始まりました国民健康保険制度の広域化は、山梨県と県内市町村が一体となって国民健康保険財政を安定的に運営するものであり、山梨県国民健康保険運営方針では、被保険者の負担の公平性から、将来的には県内のどこに住んでいても、所得水準、世帯構成が同じであれば、保険料も同じであることを目指すとされていることから、その趣旨にそぐわないと考えております。

Q 少なくとも必要性を認め、国、県に要望するべきだ

A 支援体制の拡充について、国、県へ引き続き要望する

問 笛吹市では、新年度から子どもの均等割5割軽減を18歳まで広げる予算を提案している。大月市でも、少なくとも必要性を認め、国、県に要望するべきだ。

答 市民生活部長

全国知事会次世代育成支援対策プロジェクトは、国に「こども政策の充実に向けた緊急提言」を行い、国民健康保険への子どもに係る均等割保険料の軽減措置対象年齢の拡大及び軽減割合の拡充を要請しました。市としましては、支援体制の拡充について、国、県へ引き続き要望してまいりたいと考えております。

国民健康保険税（大月市ホームページより）

区分	国民健康保険税（医療給付費分）	国民健康保険税（後期高齢者支援金分）	国民健康保険税（介護納付金分）
所得割	6.18%（前年中の所得に応じて計算）	2.07%（前年中の所得に応じて計算）	2.1%（前年中の所得に応じて計算）
均等割	26,000円（被保険者1人あたり）	9,000円（被保険者1人あたり）	11,000円（被保険者1人あたり）
平等割	19,000円（1世帯あたり）※特定世帯　9,500円	6,000円（1世帯あたり）※特定世帯　3,000円	7,000円（1世帯あたり）
限度額	65万円（合計額が65万円を超えたときは65万円となります。）	20万円（合計額が20万円を超えたときは20万円となります。）	17万円（合計額が17万円を超えたときは17万円となります。）

大月改新の会＆公明
相馬　力

Q 市長職一期目の総括と自己評価は

A 山梨大学と包括連係協定を結び同医学部附属病院の榎本信幸先生を迎えた

問

小林市長が誕生して、はや3年7か月が経過しました。市議会議員2期の経験と民間企業の経営感覚を生かし、行政運営を担い、また1年もたたぬ間に世界中に感染が広がっている新型コロナウイルス感染拡大により、市民、地元企業、事業所、商店などに大きな影響がある中で、市長として陣頭指揮を執り、地域経済を守ってきました。市長職1期目の総括と自己評価をお聞かせください。

答　市長

市長1期目についてですが、選挙の際に申し上げた主な公約として財政の健全化と地域の活性化の両立、さらに中央病院の経営の健全化を実現し、医療と介護を守ると同時に東部地域の病院間の連携、また18歳以下への医療費助成制度の拡充と、新型コロナウイルスが蔓延する中、山崎理事長をはじめとする病院職員の努力はもとより病院経営支援機構のアドバイスもあり、一定の成果を上げることができました。さらに昨年末、山梨大学と包括連携協定を結び、同医学部附属病院の現病院長である榎本信幸先生を理事長として迎えることができ、今後、継続的な医師派遣による医療提供体制の構築や経営の健全化が進んでいくものと確信をしております。

大月市立中央病院

Q 教育に関する基本的な考え方と教育への意気込みは

A ICTスキルを総動員して指導、支援に全力で関わる

問

教育には、社会教育、家庭教育、もちろん学校教育とありますが、私は国づくり、まちづくりの基本は人づくり、教育だと考えております。そこで、教育に関する基本的な考え方と、当市の教育への意気込みをお聞かせください。

答　教育長

教育に関する基本的な考え方は、知識、情報、技術をめぐる進化が加速し、情報化やグローバル化といった社会変化が私たちの予測を超えて進んでいる今、常に目の前に現れる課題に対して、獲得したICTスキルを含めた知識と技能、経験を総動員して、自ら考え抜いて、よりよく解決をし、より豊かに生きることができるための自立した人づくり。多様性を受け入れ、違いを乗り越えてスクラムを組むことのできる豊かな人間性を培うことであります。当市の教育への意気込みにつきましては、私が生まれ育ったこの大月市で学ぶ子供たちに、ふるさと大月の「ひと」「もの」「こと」に関心と愛着を持たせ、今もこれからも関わっていこうとする当事者意識を培い、人として生きていく上で大切な「まごころ」「ひたむき」「感謝」を持った人づくりを学校教育全体で推進し、これからも各学校の指導、支援に全力で関わっていく所存であります。

一般質問

山と川の街大月

鈴木　基方

Q 病児・病後児保育事業について

A 課題解決や改善を目指し検討してまいりたい

問 病児・病後児保育事業の利用状況と、体制について。

答 市民生活部長

令和元年度は延べ10名、令和2年度が2名、令和3年度は3名で、今年度は現時点での利用はありません。

現在、専任保育士の確保ができず、利用申請があった場合に登録保育士が対応しております。年々利用者は減少していますが、専任保育士の確保、利用手続の見直しなどの課題解決や改善を目指し、検討してまいりたいと考えております。

再質問

問 家庭的保育事業などの事業化に向けた検討、公立保育所の広域連携での運営の検討も必要。

答 子育て健康課長

減少していく子供の数は大月市だけの問題ではなく、今後10年後、20年後を見据えた中では、近隣市町村と組織としての広域連携の必要性も研究しつつ、家庭的保育事業など人材確保として潜在している保育士さんの掘り起こしなどを検討し、保育事業の充実につなげていければと考えます。

Q 無形の文化遺産を映像や文書で残しておくべき

A 貴重な文化遺産の保存をしていきたい

問 文化の継承、記録など、人口減少社会と地域活性化策について当局の考えを伺う。

答 市長

文化の継承、記録化に向けた活動は大事なことであると認識しておりますので、縮小傾向にある地域の祭り等を対象に、現地調査を実施しております。最近では、浅利地区にある観音堂で行われている祭りに出向き、写真撮影や参加者からの聞き取り記録の作成といった保存のための調査を行いました。

再質問

問 地域の神社の氏子中のお神楽など、無形の文化遺産を映像や文書などで残しておく必要があると考えるが。

答 社会教育課長

無形の文化遺産の継承は、高齢化や後継者不足など、多岐にわたり課題整理が必要であると認識しているところであります。市といたしましても、文化継承、保存につきましては、地域住民の間に活動への機運を高めていけるよう協力を継続していきます。また、古文書等の文書資料は廃棄がされる前に市民に提供を呼びかけているところであり、今後もこのような取組を継続して、貴重な文化遺産の保存をしていきたいと考えております。

浅利観音堂

議会日誌

2月（後半）	
16日	令和５年大月都留広域事務組合議会２月定例会
20日	議会運営委員会
	令和５年第１回山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会
21日	議員定例懇談会
27日	全員協議会
	令和５年第１回（３月）市議会定例会 開会
	予算審査特別委員会

3月	
7日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
8日	社会文教常任委員会
13日	議会運営委員会
	全員協議会
	代表質問・一般質問
15日	予算審査特別委員会
16日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
22日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和５年第１回（３月）市議会定例会 閉会

4月	
14日	山梨県市議会議長会第269回定期総会
18日	議員定例懇談会
24日	市議会広報委員会

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様に親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

あなたも本会議を傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。
詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。
※コロナウイルス感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

６月定例会の日程（予定）

●開 会 日	5月 18日
●代表質問 ●一般質問	6月 2日
●一般質問（予備日）	6月 5日
●閉 会 日	6月 9日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

間もなく私たち議員は、改選時期を迎えます。現職は、４年間何をしてきたのか（実績は何か）。また、新人の方はどんなビジョンを持って市議選に臨むのかが問われると考えます。私も大月市の発展、市民生活の向上を願って、日々の政治活動に取り組んでいる一人です。この４年間の後半は、コロナに振り回されましたが、災害同様今後の政策にウイルス対策が必要と学習しました。日々新たな課題が発生しますが、柔軟に対応できる政治家に成長していかねばと思っています。（担当 西室 衛）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月２丁目６番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会広報委員会

委員長	棚本 晃行
副委員長	藤本 実
委員	西室 衛
委員	鈴木 基方
委員	安藤 久雄
委員	志村 和喜

VEGETABLE OIL INK
この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。